

殉教の現代的意味を学習

溝部 脩 (高松教区) 司教招き司祭大会



今年秋の実現が予定されている列福式を前に、鹿兒島教区で働く司祭たちは、その準備のために恒例の司祭大会に日本一八八殉教者列福調査歴史委員会の溝部脩司教(高松教区)を講師として招き、殉教の意義を熱心に学習した。

昨年は司教叙階式のため中止となった教区で働く司祭たちが一堂に会して学習し親睦を深める「司祭大会」が、今年一月二十三日(火)夕方から二十五日(木)の夜まで教区本部で開催された。

出席したのは鹿兒島教区で働く四十五人の司祭のうち、療養や所要のため出席できなかった五人を除く四十人と二人の助祭。

出席した司祭たちは日本一八八殉教者列福調査歴史委員会編・溝部脩司教監修の「キリシタン地図を

＝人＝
ブラジルで働く
Sr. 堂園みつ子

一月十三日(土) 教区本部に足を運んで下さったのは、純心聖母会の堂園みつ子修道女(五十四歳)。

二十六年の間、ブラジルはパラナ州で、貧しい子供やお年よりのためにまた地元の教会活動に尽力している。今回は三年半振りの帰国という。ちよっぴり豪快な感じのするこのシスター、実は市来町の出身。大学時代に受洗、「修道女になる気なんてまったくなかった」とあっさり。でも「修



道会に居場所を見つけたから」と力強い。勤めていた幼稚園を辞めての入会となった。
「貧しい人たちが一人立ちできるようにしてあげたい」と目標を掲げるシスター。ブラジルの肝っ玉母さんの存在かも。【三面に連続記事】



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島教区
電話 099
(26) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部

道標



Yet... Joy! Hope! Gratitude!

ゼッケン16061 快走

司教「菜の花」で10キロに挑戦

一月十四日(日)指宿市で開催された第二十六回いぶすき菜の花マラソン(10キロの部)に郡山健次郎司教が初挑戦。六十分台の記録で見事完走した。

前半抑え目に走り出した司教は、後半に少しずつペースを上げ、目標の六十分を切ることはならなかったが粘りの走り、初のチャレンジを終えた。司教がジョギングに取り組みだしたのは昨年の五月、その頃のタイムからすると今回の大会では、十分以上タイムを縮めたことになる。鹿兒島市の甲突川沿を、祇園之洲周辺を時間を測りながら走り続けた粘りの成果が現れたようだ。



大会会場には、その司教の走りを一目見ようと青年たちや信者家族の姿があり、「キバレ」と司教に楯を飛ばすとともに完走を自分のことのように喜んでいった。司教の次大会へのチャレンジが楽しみになっただけでなく、この八か月に見せてくれた粘りに司教の新たな一面を見た。

ザビエル祭実行委

一月十六日、教区本部でザビエル上陸記念祭実行委員会があり今年の記念祭について話し合われた。

委員会によると昨年は八月十五日に近い日曜日に開催したことで、生誕五百年記念の巡礼とミサ、パーティーが好評だったことから、今年は八月十一日(日)に開催し、昨年と同じ形式を検討している。昨年以上に皆さんの協力をお願いしたいとのこと。

ありがとうございます!

教区の皆さん ルソン島泥流災害

司教様、司祭たち、修道会と信徒の皆さんへ

「昨年十一月三十日、フィリピンのアルバイ州を強い台風が襲いました。そして私の母親と兄弟たちを含む大勢の被災者が出ました。この災害を受けた困難、痛みや寂しさを忘れることができません。しかし、心に深く刻まれました。

たことは、皆さんからの救済募金や祈りでした。これは間違いなく神の計らいと感じました。

皆さまからの支援を頂いて、私の母や兄弟たちは神様の愛と憐れみを体験しました。本当に家族のための大きな支えと援助でした。ここにフィリピンにいる家族を代表して、皆さまの温和と寛大に御礼申し上げます。

私たちはどのようなお返しをしたらよいでしょうか。このご恩は一生忘れられないことではないでしょうか。ですから私は神の豊かな祝福が皆さん一人ひとりの家族の上にありますように祈ります。本当にありがとうございます。感謝と祈りのうちに!

オローフォ家代表ベルナルディーノ神父
【三面に英文を掲載】

殉教者を思い、ともに祈る週間

2月4日から11日まで

日本カトリック司教協議会が長年取り組み、推進してきた。ペトロ岐部と一八七殉教者の列福推進が実を結び、その列福式が二〇〇七年に日本で開催される見通

しとなりました。殉教者の精神とその霊性は、福音のメッセージとかけ離れた価値観が強まる時代においても欠かすことができません。信教の自由が

奪われたなかで、福音を信じ続け、そしてそれを生き抜いてきた日本の教会の先達に思いを寄せ、そこから、今を生きていくわたしたちへのメッセージをくみ取るために、この週間が設けられました。(カトリック教会情報ハンドブックから)

YET

幼い頃「明日はひのきになる」と努力しているというヒノキ科の「あすなろ」の話を聞いて感動したのを覚えている。たとえ叶わない夢であっても努力することの大事さを教えられた、そんな気がする▼

新年に限らず、何かしら節目となるような時を迎える。「これからは……」「今度こそは……」と意気込んでしまふ。そしてまた同じ決意を繰り返すはめになる。情けないと思う▼いつだったかあまりにも同じ過ちを犯す自分が悔みで、ある司祭に告白。すると「うぬぼれるな。あんた程度の人間、また同じことやらかすよ。また告白に来い」とあっさり。「あんた程度の人間」確かにそうだった。打ちのめされた▼短気な自分である。幼い頃からそうだったようだ。だからか、幼稚園時代に七田和三郎園長に「文句を言う前にゆっくり一から十まで数えなさい」と言われた。それから四十年以上が経過。今でもまじないのようなその遺言にも似たテンカウントは心の中で呟かれるが、それはジェット機のような速度のよう、怒りを抑えきれない。だから今でも人を傷つけ続けている▼今年も「平和の種は蒔けなくても、せめて争いの種を蒔かない」と目論んでしまった。年が明けてまだ数日、この目論みはすでに次の機会の決意へと姿を変えようである。ただ「それでも決意の価値はある」そう思っている。

新風 悪に負けることなく

「悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい」(ローマ書12章21節)

新しい年を迎えても、テレビや新聞を通して茶の間に届けられるニュースは悪い知らせばかりのように思えます。しかもその悪いニュースを細部にわたり解説を加えてくれる「ワイドショー」というテレビ番組があります。競争原理に則って営まれるワイドショー番組は視聴率で他局を出し抜こうと必死で頑張ります。番組制作者の方々の頑張り、もちろん自分たちの愛する家族を養うためでしょう。しかし、人間の恥部をどこまでも追求したところで、仕事の内容自体、決していいはずはありません。悪の実態をつまびらかにし、人間が二度と同じような犯罪を繰り返さないように社会に警鐘を鳴らすためだと、ひたすら自分に言い聞かせながら仕事を続けるしかないでしょう。

一方、テレビにしがみついても、事件の真相を知りたがっている人たちは、はじめは、事件の当事者に憐憫の情こそ感じますが、後は、好奇心が先行し、いつの間にか「もっと刺激的な事件はないかな」と期待を寄せてしまうようになり、人間より賢い悪魔の罠に完全にはまってしまっている人間の実態がそこにあります。この文章をここまで読んで、はっと我に返った人は、即座にワイドショー番組を消し、新約聖書のローマの信徒への手紙第12章全体をゆっくり読んでみてください。

かつて、中世スコラ哲学では「悪とは善の欠如である。」と教えていました。しかし、二十一世紀の今日、キリストが命を懸けて戦った悪にわたしたちも善を持って立ち向かわなければならぬのです。もつと過激に、もつと忠実に、神のことばに従って生きるように促されているように仕方がありません。

(N・H)

司教執務 歩いて祈る巡礼始めよう

歩いて祈る巡礼始めよう

「道を探してですか?」
左手にはロザリオ、右手には地図。人気がない通りの真ん中で思索していると、見知らぬ婦人が近づき、親切にも、かなりの道のりを案内してくださった。道々、二十六聖人たちが歩いた浦上街道が海沿いの道であったことを教えてもらい、海からの寒風に晒されたであろう聖人たちの苦しみ

が偲ばれた。外人墓地では、フランス軍の兵士だったというベトナム人の墓も教えてもらい、同行のティエン、アンの両師は感慨無量。親切なご婦人とはここで別れロザ

リオ再開。最後の一連を二十六聖人の前で捧げ、後ろの資料館へ。中に入ってしばらくたつた頃、我らが聖師フランシスコ・ザビエルの巡礼中の御像と遭遇。黒の修道服に身を包み、胸には二つの貝殻が。福岡空港で出迎えた韓国人神学生金さんに二枚ほど撮ってもらった。「ザビエル様も巡礼に行かれたのか。」初めて目にする聖師のもう一つの姿に深い親しみを覚えたのは「ミニ巡礼」のせいかもしれない。

祈りながら歩く。体を使った祈り。今回の小さな巡礼を通して「ザビエ

ル様の聖遺物の前まで祈りながらイザツて行く。着いたらローソクを立てて祈る」イメージが自分の中でかなり具体的に

なってきたように思う。そして、今年第一回目のザビエル上陸記念祭準備委員会。「ザビエル様が歩かれたと思われる道を特定しよう」との提案に満場一致。そのうち、ここ鹿兒島でも、ロザリオ片手に、ザビエル様の歩かれた道を辿る巡礼者の姿に遭遇する日が、近いうちに、きつと到来するはず。



ザビエルの遺体が安置されているボン・ジェズ教会

教区主催 ザビエル生誕/500年記念に行く 「インド巡礼七日間」を終えて

レデンプトル会司祭 頭 島 光

巡礼の期間は二〇〇六年十一月二十九日から十二月五日でした。もちろん、十二月三日のザビエル様の記念の日にあわせての南インドへの旅。聞くところによると制作よりも、ザビエル様のご遺体はそのゴアのボンジェズ教会に安置されているということですが。私たちはそのご遺体を拝みにいったのです。今年がザビエル様生誕五百年ということ、大きなお祭りになることを期待しながらの旅でした。

この聖堂は Bom Jesus と呼ばれ、その意味は、「善きイエス」あるいは『幼子イエス』です。完成されたのは、一五九四年。ザビエル様が亡くなったのは一五五二年ですから、それから四十二年後ということになります。いざれにしても、このゴアは、ザビエル様がポルトガルのリスボンを出航して、アフリカの喜望峰を回り、翌年の一五四二年五月六日、約一年の船旅を終え、上陸したインドの最初の町なのです。その当時すでにキリスト教の共同体は存在して、多くの人々の

協力を得て、アジアのキリスト教布教に貢献したのです。ザビエル様が初めての日本人・ヤジロウに出会ったのは、マラッカ。その出会いから一年半の歳月の後、一五四九年八月十五日、ゴアを出てから四か月目のこの日、ヤジロウの故郷、鹿兒島の港に入ったのでした。

私たちの巡礼の旅は、ザビエル様が鹿兒島にいらしたのとは、逆のコース。南インド最初の訪問地はかつてのマドラス(現、チェンナイ)。ここにはイエスの弟子の一人、使徒トマスのお墓があるとされている教会、サントメ教会があります。

この町で、私たちはイン

ド最大の宗教・ヒンズー教(八三パーセント)の寺院、カパーレ・シエワラを訪れました。八世紀に建てられた寺院で、シヴァ神がまつられています。高さ三十七メートルもある山門にはたくさんの聖人像やら、神々が飾られているのが見えます。

チェンナイからさらに飛行機で第二の訪問地、コーチンに到着。十一月三十日でした。

この教会には、喜望峰を回り、膨大な富を本国にもたらしたヴァスコ・ダ・ガマの墓跡があります。この教会はインドでもっとも古く建てられた教会としても知られています。ガマは、一五二四年、この町で死に葬られました。

私たちがインドのゴアに入ったのは、その翌日の十二月一日でした。そしてその翌日の朝、私たちはボンジェズ教会に向かって、朝七時ホテルを後にしま

した。多くの車やバイクに乗った人々が行き交うガタガタの狭い道路を走る約一時間、ようやく着いたボンジェズ教会、その隣にはカテドラルが立っています。

午前九時半、そのボンジェズ教会でミサを予定していた時間。前日、航空会社の予約過剰でコーチンから別行動になった七人は果たしてこの時間に間に合うだろうか。時計は九時十五分、ただじっと待つていても仕方ない。皆で祈るということになり、ロザリオの祈りが始まる。と、ちょうどその祈りが終わろうとしたとき、聖堂の入り口付近から、日本人らしき人の姿、一人また一人と現れ、感激の涙、涙、であった。九時半、まさに奇跡が起きた。ザビエル様は私たちを再び引き合わせてくださいました。しかもその場所でも、ミサの時間に。感謝、感謝のミサとなったのです。

+KABAYAN SEKSIYON+

"Binuo ng Diyos ang bayang-Israel"

Sa taon 2007, tatalakayin natin ang tema "Ang pag-buo ng Diyos sa bayang-Israel". Paano binuo ng Diyos ang bayang-Israel? Ito'y may relasyon sa ating buhay. Pagkatapos sa mga patriarka, binuo ng Diyos ang Israel bilang kanyang bayan, sa pag-papalaya sa kanilang pagka-alipin sa Ehipto. Naki-pagtipan ang Diyos sa kanyang bayang-Israel sa Bundok Sinai at sa pamamagitan ni Moises, ibinigay niya sa kanila ang kanyang batas para kilalanin at paglingkuran siya bilang isang nabubuhay at tunay na Diyos, ang mapagbigay na Ama at matuwid na humahatol, at saka para hanapin nila ang pangakong Tagapagligtas. Ang Israel ay bayan ng kaparian ng Diyos, "tinawag sa pangalan ng Panginoon", at "ang unang nakarinig ng salita ng Diyos", bayan ng "mga magkakapatid" sa pananampalataya ni Abraham.

Sa pamamagitan ng mga propeta, binuo ng Diyos ang kanyang bayan sa pag-asa ng kaligtasan, sa in-aasahang bago at magpakailanman Tipan na itina laan para sa lahat, na isusulat sa kanilang mga puso. Nagpahayag ang mga propeta ng pundamental na kaligtasan ng sambayanan ng Diyos, lilinisan sa kanilang mga paglililo, at kaligtasan na kasama ang lahat ng mga bansa.

Higit sa lahat, ang mga mahihirap at mababang-loob ng Panginoon ay ang magdadala ng pag-asa. Ang mga banal na babae, tulad ni Sara, Rebecca, Rachel, Miriam, Deborah, Hannah, Judith at Esther, ang siyang magpapatuloy na buhayin ang pag-asa para sa kaligtasan ng bayang-Israel. At ang pinakadalisay na pigura sa kanila ay si Maria.

Mga kababayan, kung bibigyan ninyo ng pansin ang mga gawa at plano ng Diyos, ganoon din ang gagawin niya sa atin. gusto rin tayong buoin ng Diyos bilang isang bayan na maipagpapatuloy sa atin ang kanyang Tipan na ginanap doon sa Bundok Sinai.

Mapalakas sana mga kababayan ang ating pananampalataya, pag-asa at pag-ibig sa Diyos.

インタビュー

三年半ぶりに
帰郷した長崎純
心聖母会のシス
ター堂園にブラ
ジルでの宣教の様子を伺い
ました。【中野裕明神父】

いつブラジルへ?

答：一九八〇年十月に会
員六人が派遣されました。
私はその中の一人。メン
バーはパラナ州のサンジェ
ロ・ニモとアモレイラとクリ
チバで働いています。
・どんな仕事ですか?

答：サンジェ
ロ・ニモではハン
セン病を含む一
般の皮膚病ため
の診療所。クリチバには
純心学園があり、幼稚園と
日本語学校を運営していま
す。アモレイラでは保育所
と老人の家の経営です。私
はアモレイラで働いていま
す。

ブラジルで宣教して26年 シスター堂園みつ子さんに聞く

う活動で、多くの企業もサ
ポートしています。私たち
の町には三十人のメンバー
がいます。また「老人司牧」
もあります。
・施設以外の仕事は?
答：小教区教会の手伝
いをしていきます。町人口の
八〇%は信者ですが、主日
に教会に来るのは六百人程
度。その中で月に二回の聖
書の勉強、典礼や初聖体
堅信の準備の手伝いをして
います。

答：人口九千の内陸部
の町です。保育所には三か
月から六歳までの子供百十
人程が通い、老人の家には
三十二人がいます。私はそ
この施設長です。



揃いのTシャツで初聖体に臨む子どもたち

・経営はどうですか?

答：お世話している子供
たちや老人のためには政府
から補助金が出ますが、職
員は無報酬です。子ども
たちの親のほとんどは日雇
い労働者で朝六時半から夕
方まで農園で小作人として
働いています。収入は週給
六百から七百円です。
ブラジルには「子供司
牧」という組織があります。
これはボランティアが二人
一組で貧しい家を訪問して
子供たちの相談に乗るとい

北薩地区で宣教奉仕者養成講座

五月二十日開催予
定のカトリック北薩大
会で宣教奉仕者の任命
を行う北薩地区教会で
は、一月二十一日(日)
大口教会で第一回目の
養成講座を開いた。

この講座は永山幸弘
神父によってテーマご
とに四回開かれる。今
後は入来(二月十八日)、
出水(三月十八日)、阿
久根(四月十五日)の
予定である。

三十三人が受堅 マリア教会

一月七日(日)マリア教
会では堅信式があり、三十
三人が郡山司教からはつらつ
と生きる大人の信者になる
ための秘跡を受けた。
福音朗読後の説教で信
者が持つべきキーワード
に「ワクワク」を掲げた司
教は、堅信の秘跡を受けた
人はイエスとの深い友情を
築き、どんな苦境にあつて
も十字架の上のイエスのよう
に「それでも」と「喜び・
希望・感謝」をもってはつ
らつと生きるように。また
ワクワクして生きていたら
宣教になるとメッセージを
贈った。

兄弟的交わりを キリスト教一致祈禱会

一月十八日(木)から
始まった「キリスト教一
致祈禱週間」中の二十一日
(日)、プロテスタントの兄
弟とカトリックの信者がそ
の一致を祈る祈禱集がザ
ビエル教会で開かれた。
今年のテーマは「耳の聞
こえない人を聞こえるよう
にし、口の利けない人を話
せるようにしてください」。
今は別れ別れになっていく
兄弟たちが交わりを深める
ために祈りあった。

修道会便り

▼聖母カテキスタ会が名称
変更
聖母カテキスタ会(小澤
尚子総長)は、会員が就い

ている職種など実態に合わ
せて、会の名称を「聖マリ
ア在俗会」に変更した。同
会は一九五四年日本で創立
され、会員は現在二百六十
人。日本をはじめブラジル、韓
国、タイ、インドネシア、
米国などで働いている。教
区では二人の会員がカテキ
スタとして活躍している。

門田 明氏の 鹿児島とキリスト教(自)

ザビエルと忍室和尚

先号では、鹿児島に住み着いたザ
ビエルについて話した。この鹿児島
で、ザビエルは玉竜山福昌寺東堂の
忍室和尚と親しく交流している。
「僧侶たちのなかでもっとも知識
のある人たちと幾度も語り合いまし
た。そのなかで、とくにこの地のす
べての人びとからたいへん尊敬され
ている方は、学識豊かで生活態度が
立派で、高位にあり、また八〇歳
の高齢であるためにたいへん尊敬さ
れている方で、忍室と呼ばれ、日本語

では(この名は)「真理の心」を意味
しています。彼らのあいだでは司教
に相当する地位(東堂)におられます。
いろいろな話があったなかで、霊魂
が不滅であるか、あるいは身体とと
もに滅びるものであるかについて、
彼が疑いを持ち、決めかねているこ
とを私は知りました。彼は私に、あ
る場合には霊魂は不滅であると言
い、他の場合には否定します。…(聖フ
ランシスコ・ザビエル全書簡)

ザビエルはこうも言っている。「こ
の忍室は私とたいへん親しい間柄で、
それは驚くほどです。」日本で初めて
の仏教とキリスト教、異宗教間の対
話が行われた。きわめて重要な出来
事であったと思う。

最近、山本年樹「遙かなるザビエ
ル」(文芸社・二〇〇七)が出版され
たが、忍室とザビエルの対話を、い
かにも生き生きと再現しておられる。
引用してみたい。
「パドレ、よくお見えになりました」
「忍室殿、あそこに座っている若い僧
たちはなにをしているのですか?」
「あれは座禅といっています。いわば
心の修業をしております」
「わが師イグナチオの教えの、霊操と
いう心の鍛錬にそっくりです。なに
を黙想しているのですか?」
「無です」「無?」
「というように対話が進んでゆく。
お互い理解にはほど遠いと思うが、相
互に深い尊敬の気持ちで別れたよう
に思う。(玉里教会信徒・ザビエル上
陸顕彰会会長)

2月 今月の暦

- 2日(金) 主の奉獻
- 4日(日) 年間第五主日
- ▼ポツフィ神父命日(一九八八年)
- 5日(月) 日本二十六聖人殉教者
- 11日(日) 年間第六主日
- ▼世界病者の日
- 教皇ヨハネ・パウロ二世は、一九八四年二
月十一日(ルルドの聖母の記念日)に使徒的
書簡『サルヴィフィチ・ドローリス』苦し
みのキリスト教的意味』を発表し、翌年二月
十一日には教皇庁医療使徒職評議会を開設し
ました。そして一九九三年からこの日は「世
界病者の日」と定められ、毎年教皇メッセー
ジが発表されています。

- 13日(火) ハンマ神父命日(ヨルダン)
- 18日(日) 年間第七主日
- 21日(水) 灰の水曜日
- ▼四旬節愛の献金(四旬節中)
- 22日(木) 聖ペトロの使徒座
- 25日(日) 四旬節第一主日
- 27日(火) 東條一浩神父命日(二〇〇一年)

DIOCESE OF KAGOSHIMA
Bishop Paul Koriyama Kenjiro,
To all the Priests, Religious and Faithfuls,
* A SHORT THANKSGIVING LETTER *
I and my family would like to express a belated "A HAPPY NEW YEAR TO ALL!"
Last year, November 30, 2006, a very strong Typhoon struck the Province of Albay and there were so many victims, including my mother and brothers. Really a calamities that cannot be easily forgotten by the peoples who had experienced the pain, sadness, and difficulties. However, there is one thing that cannot be forgotten "God's providential" through the many peoples who extend their help and aids, their moral supports and prayers. My mother and my brothers experience this providential of God's love and mercy through your donations and prayers, and really it was a big supports and helps for them and to others peoples. Now, as a representative of my family in the Philippines, we would like to express our gratitude for your kindness and generosity, and we will never forget it in our whole life. We don't know how can we repay you all, however, only one thing we can say deep in our heart that "May the Lord bless you and your families with abundant blessings", and again we say thank you, thank you very much.
With gratitude and prayers,
OROLFO S FAMILY
(Fr. Bernardino A. Orolfo)

文芸

俳句 (思川俳句会作品)

老梅の花ほころびて春立てり

(評) 古稀の充実感を覚える佳作

純心学園 川上 和

桜島の初日をあびるやぶつばき

鹿児島 徳永ノブ子

初ミサや先ずは健やか主に願う

(評) 「初ミサや」が作品を重くした。

鹿児島 春山マリ子

灰色の空に舞い飛ぶ群小鳥

鹿児島 本城 愛

寒雀丸く居眠る樹下かな

阿久根 中津濱フサエ

ひたすらにたのしみ求める山の鳥

出水 沖 弘子

離れ住む子をもてなしてお元日

純心学園 山頭信子

元日や初東雲の桜島

片栗の花咲くふりの庭

短歌 (思川短歌会作品)

田平新太郎選

師の君より戴き給ひし年賀状幾度も見ぬ古稀なる吾れは

父母を祭れる寺の節分会年男も皆も笑顔ほころぶ

(評) 年輪を感じさせる詞作、歌財も尊い。

時鳥忍びてもらし鳴く春の襖に時折陽が射し始むる

純心学園 川上 和

グロリアの喜び告げる歌声にうまやの光芒御子を照らす

阿久根 中津濱フサエ

かなしさにうちひしがれる心よどうかとめないでどうか泣かせて

(評) 結句の「どうか泣かせて」がよい。

純心学園 川上 和

夕焼を背にとどむる白き馬両の目細めたてがみを振る

鹿児島 前田儀子

初祈り神も仏もひとしけり杜めぐる人寺に詣でる

選者詠

みころに恥ずかしからずや盲いたる決意を告げる手紙読む日よ

阿久根 中津濱フサエ

ささやかな幸せ祈りてゆく春を残り少なき人生に託す

阿久根 眞清水 藍

黄金なる芯を抱きて丸やかに茶の花咲けり霜月の庭

阿久根 窪田ヒサエ

今年また永遠の御国に貯えんつたなき愛と日々の善行

鹿児島 春山マリ子

不幸だけ数えて悩む人の世に救いもあるしそれを信じて

鹿児島 前田儀子

もろもろの世に救いもあるしそれを信じて

鹿児島 前田儀子

感謝の道64kmを歩き終えて

11月24〜26日の徳之島巡礼

鴨池教会 勝 貴子

ワールドニュースデーで出会った徳之島の青年からの呼びかけで参加したこの徳之島巡礼は、たくさんのお恵みを頂くものとなりました。島の豊かな自然と風土、人の温かさ、美しい笑顔に出会いました。何よりも長い行程中、奉仕と祈りで参加して下さった島の皆さんと遠くから祈りで支えて下さった皆さんに感謝しております。

全行程を通して、いつも感謝を言葉・態度に表す大切さ、人の笑顔はすばらしい影響力がある、神様に自分自身を委ねる努力をすることの重要性を感じました。今後この体験を活か

し、キリストと共に歩み生きていきたいと思えます。

谷山教会 川畑久子

私を今回の巡礼に駆り立てたもの、それは、島内十の教会を「感謝の道」と名付けて歩くこと、青年達(ヤコブ会)が中心にこの計画をすすめていること。

私個人としては人生も終盤にさしかかり信仰の見直しが必要だと感じ、洗礼の恵みを受けた原点に帰り、この地にイエス様の愛を伝えてくれた宣教師への感謝とその恵みを受けながらその愛を十分に次世代へ伝えきれなかった自責の念を胸に「感謝の道」に加えて私は「償いの道」「許しを乞う道」と名づけました。

選者詠

明光学園 森 博伸

歩き始めはにぎやかに、一日の終わりは黙々と歩く中、ロザリオを手にしているとき、ささやかな喜びだけの方とつながりを実感出来ました。

祈りで支えて下さる友人、知人の顔が浮かびます。深い感動が私を包み「主に

シリーズ「教区財政を考える」④ 教区司祭地区財務管理規定

鹿児島教区では、コンベンツアル聖フランシスコ修道会、レデンプトール会、聖サベリオ宣教会の神父様方の担当の小教区と教区司祭担当の小教区がありま

す。今回紹介するのは、教区司祭が担当している小教区(始良、玉里、大熊、種子島、小宿、志布志の各小教区を含む)で実施されている財務管理規程を紹介し

ます。この規程は小教区財務委員の方々にはお渡ししているものです。

鹿児島教区では、コンベンツアル聖フランシスコ修道会、レデンプトール会、聖サベリオ宣教会の神父様方の担当の小教区と教区司祭担当の小教区がありま

す。今回紹介するのは、教区司祭が担当している小教区(始良、玉里、大熊、種子島、小宿、志布志の各小教区を含む)で実施されている財務管理規程を紹介し

七 主任司祭は、五月十日までに、教区長、地区長及び、所属信徒に、小教区会計(財務状況)の報告を行う。

八 附則 この財務管理規程は一九九七年六月一日から発効する。

〇昨年度、鹿児島教区は大幅な主任司祭の大幅な人事異動がありました。「人が替わっても財務の仕組みは変わらない」というのは組織の強みです。各小教区で今一度、現状をこの規程に照らし合わせてみてくださ

さい。

〇教会での預金通帳、貯金通帳の名義について。教会には壮年会、婦人会、信徒会などの会合があります。もし、これらのグループが各自で預金通帳なり貯金通帳をお持ちなら、それらの名義は個人名義であって、小教区名義ではありません。小教区の財務委員会が管理する通帳はすべて「宗教法人カトリック鹿児島司教区〇〇教会」、か修道会管轄の教会なら「宗教法人〇〇修道会」となっています。法律的には公のお金と私のお金の性格の違いがそこにはあります。(教区会計 中野裕明)

一 各小教区に財務委員会を設置する。

二 小教区財務委員会

〔構成〕主任司祭、助任司祭及び最低四人の信徒によって構成される。

〔任命〕信徒委員は、主任司祭の推薦または小教区民の選挙によって選ばれる。信徒委員の任期は四年とし、二年毎にその半数を改選する。尚、司祭の任命を受ける。

〔職責〕主任司祭は委員長となり、また信徒委員の中から書記、会計を任命する。

〔任務〕財務委員は、すべての小教区の財務の維持、管理を行う。併せて財政自立のための啓もう活動を行う。

主な務めは次の通りである。

(1)小教区の土地、建物の維持、保全に努める。

(2)財産目録(備品を含む)を作成・保管する。

(3)維持費の徴収・管理を行う。

(4)土地の売買、財産の貸借、建物の新築、建物の著しい増改築などの必要のあるときは、あらかじめ地区長および教区長の許可を得たうえで決定し、実施する。(小教区用の土地購入聖堂、司祭館等の建築資金の調達は原則として小教区の責任とする)

(5)特別の出費のため負担金を徴収するときは、あらかじめ所属信徒の意見を聴取したうえで実施する。

(6)献金の管理

例会 年間少なくとも二回定例委員会を開き、必要に応じて適宜臨時委員会を開く。書記は正確に議事録を作成し、保管する。

三 財務管理

A 財務の承認は、教区及び教区司祭地区は地区長、その他の地区では地区長がこれを行う。

B 小教区の会計監査

主任司祭は、小教区民の中から有識経験者二人を「小教区会計監査人」に指

名し、司祭の任命を受ける。監査人は会計年度末決算時に監査を行い、小教区財務委員会及び小教区民に対して監査報告をする。

四 地区財務委員会

〔構成〕

①教区司祭と総代理

②教区顧問司祭(四人)

③地区内各小教区の信徒財務委員代表一人

〔任務〕

①教区司祭地区会計の予算・決算の審議・承認

②地区内小教区の予算・決算の報告を受ける。

③地区内各小教区があらかじめ次の書類を提出していただき、教区会計部において書類審査を済ませておく。

(a)予算・決算書(残高証明などの添付資料を含む)。

(b)監査報告書

(c)特に指示されたその他の財務資料

④地区財務委員会において、毎年、司教より指名された小教区が予算、及び決算の報告を行う。

⑤その他の提案事項を審議する。

五 地区費・教区費・献金

分納金及び神学生養成費は三か月毎に教区本部会計部に納入する。

六 会計年度は、四月一日の始まり、翌年三月三十一日に終わるものとする。

餅つきに歓声 愛の聖母園

十二月二日(土)、児童養護施設「愛の聖母園」では連合壮年会と女性信徒の会の協力を得て餅つきを実施した。

臼と杵を使って自分たちの手でつきあげた餅を、子どもたちは歓声を上げながら五個、六個とペロリ。園内はちよつとしたお



餅つきに歓声 愛の聖母園

中高生の長崎巡礼
—受け継がれた信仰—
 期日：3月27日～29日
 参加費：15,000円(離島からの参加者の旅費は主催者負担)
 問合せ：泉 浩二(加世田)
 tel0993(52)2303 ※締切3月